

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2023年1月12日
事業所名: 夢門塾白楽	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	0	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースは狭いが、外出活動なども取り入れ、工夫している。 ・狭いが、活動を分ける等の工夫をしている。 ・一部屋しかないが創意工夫して活動していると思う。 ・自由遊びの時間などお子様もうまくスペースを使って出来ていると思う。 ・面談室、静養室のスペースが取れていない。 ・転居先を探しているが予算と広さ、駐車場など総合的に満足できる所が無い。
	②	職員の配置は適切である	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務表で児童数と職員数をしっかり見ている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策を行っている。調理活動の際も消毒などの衛生面に気をつけて行っている。 ・日々の清掃、エアコン空清フィルター交換等を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の歩み」で長期目標と短期目標を設定し、目標達成のために何ができるかを考えながら働くことが出来ている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをもとにミーティングを開催している。 ・アンケートを実施し、ホームページで公開している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開している。 ・アンケートを実施し、ホームページで公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの社内研修を行っている。 ・土曜日開室となり正社員の代休日が増えたことで職員が顔を合わせてのミーティングが困難となった。 ・ほぼ毎日ミーティングを行っている。 ・持ち込みの資料で研修をしたり、時事の問題も取り上げミーティングで話し合っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・初回ご利用から3か月、ほか半年ごとの面談によりアセスメントを行っている。送り時の会話も記録に残している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動案を出し、工夫できる部分は全員で検討している。 ・意見を出し合ってより良い活動になるよう話し合っている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その日のお子様のメンバーに合わせ毎日変えている。 ・児童発達支援管理責任者を中心にプログラムを考えている。 ・季節に合わせたプログラムを作成している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時間が早いお子様と遅いお子様の班別プログラムや平日と休日のプログラムは通常とは違うものを提供するようにしている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・お勉強タイムはレベルに合わせたプリントの用意をしている。 ・集団に乗りづらいお子様は職員と一緒に参加している。 ・ご利用児童を半分ほどのグループに分け、少人数での活動も行うことがある。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎開始時間(子ども達の下校)が早い時、学校長期休暇の際など全体での打ち合わせが困難な時あり。 ・外出時はペア(お子様と職員が一緒に行動する組み合わせ)を予め決めておき、お子様の遊びの好みや動き方、相性を考慮して決めている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を後から見返して状況や様子をよく分かるような記録を残すよう意識している。 ・支援記録は毎回同じお子様のものを書くことが無いようにして記入している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一回の面談や送り時の会話、本人の様子を見ながら計画を作成している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスガイドラインを遵守している。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	7	2	0	・送迎時に学校での取り組みや対応方法などを伺ったり、夢門塾での様子をお伝えしたり、行事、予定などの情報交換や共有を行っている。 ・学校から直接予定表を頂くことが出来ないため、家庭より下校時刻を教わっている。面談時、学校からの通知表を提出して下さる方も居る。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	4	1	・各所発行の書類の提出をお願いしているが、提出いただけないご家庭がある。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	5	1	・学校を卒業するお子様がいない。 ・移行する際の相談があまりない。 ・卒後の施設から問い合わせがあれば詳細情報提供の用意はあるが、特にこれまで問い合わせは無い。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	3	・多職種連携はあるが研修等は無し。 ・ご家庭より提出された資料をもとに支援計画に反映している。 計画相談員とは来所見学時に情報交換している。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	9	0	0	・ご家族とコドモンでの連絡帳でのやり取りのほか、学校送迎時に先生と情報交換をしている。 ・電話やメールによる相談も承っている。
	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0	・契約書読み合わせ時や面談時に質問があれば説明を行っている。 ・見学の際に実際にご利用することを想定しての説明を行っている。
保護者様への説明責任等	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	9	0	0	・利用の状況や事象に応じて適宜面談を行っている。 ・随時相談を承っている旨を日頃から周知するようにしている。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	1	8	・コロナ禍で開催せず。 ・土曜開室、スペース狭小のため時間、場所を確保し得ない。
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している	8	1	0	・苦情はすぐに職員全員に周知・対応している。 改善方法を全員で検討している。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	9	0	0	・「夢だより」を作成し配布している。 ・週2回のブログ更新のほか、「夢だより」、キャンドルナイト参加の活動報告のお便りを配布している。
	㉗ 個人情報保護に十分注意している	9	0	0	・個人情報が記載されているものの処分についてシェレッダーを活用している。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	・発語が難しいお子様は筆談、絵カード等を使用している。 ・保護者様との連絡は電話、メール、連絡ノートを活用している。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	7	2	0	・地域のフリーマーケット、スタンプラリーや近隣大学のイベントに参加している。 ・ハロウィンの時のフリーマーケットが良かった。
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	7	2	0	・本社のマニュアルを備えて活用している。 ・感染症対策マニュアルを遵守している。
	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	8	0	1	・主に地震を想定した訓練を行い、防災センターへ見学体験に行くなどのプログラムも取り入れている。
非常時などの対応	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	0	・日々、行った支援が虐待に当たるか否かの振り返りを行っている。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	8	1	0	・支援計画表に明記の上、身体拘束に準ずる支援が必要となり、実施した際には保護者様に理由の説明、その時の様子や時間などをお伝えし、さしつぶし提供記録に記録している。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6	3	0	・現在、教室での服薬は無し。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	8	1	0	・ヒヤリハットを記入し、その日不在だった職員にも周知している。 ・ヒヤリハットが発生した場合は終礼で職員全員に情報を共有し、改善策、再発防止策を話し合っている。